

## ②システム思考 ～「なぜ？」の繰り返しが問題の本質に届く～

### システム思考とは？

システム思考とは、現実の複雑性を理解するために、ものごとのつながりや全体像を見て、その本質について考えるディシプリンです。

引用：小田理一郎（2017）『学習する組織』入門



「〇〇が大切だね。」という、同じ結論が何年も続いています。本当に課題解決につながっているのだろうか？

目標を明確にしたのに課題解決につながっていない……。努力はしているのに結果が出ない……。なぜ？

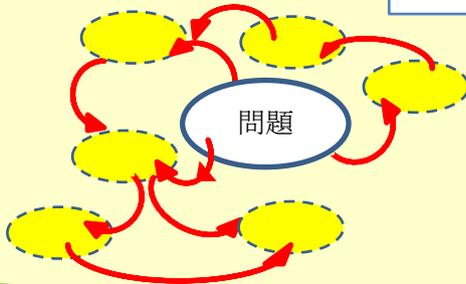


### チェック

### 自分や組織・チームを振り返ってみましょう！

- 問題の部分的な把握だけではなく、原因となる構造を捉えていますか？
- ものがごとが影響し合って変化する複雑性を理解して、問題の全体像を捉えようとしていますか？
- 課題解決に向けて、どの部分にアプローチすればよいか戦略を立てていますか？

### システム思考の考え方



何回も「なぜ？」を繰り返すことで、ものごとの構成要素のつながりを明らかにしていくことができます。

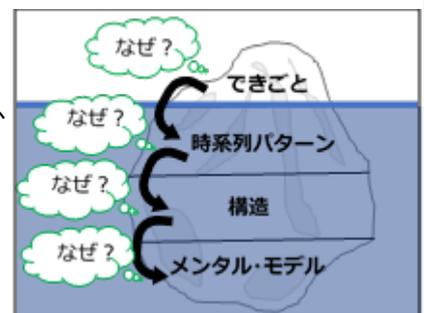
そうすることで、答えがひとつではなく、要素がつながり合っ問題が起こっているメカニズムを知ることができ、全体像が見えてきます。

**全体像が見えてくると、働きかけるべきポイントが見えてきます。**

### ポイント

#### 【問題に対しての思考の掘り下げ方（冰山モデル）】

- 1 今問題となっている出来事を明らかにする。できごと
- 2 今問題となっている出来事の前後や関連する事象を整理し、繰り返されるパターンを見つける。時系列パターン
- 3 そのパターンを引き起こしている関係を見つける。構造
- 4 その問題に関わる自身や関係者の意識・無意識の先入観や固定観念、思い込みを見つめ直す。メンタル・モデル
- 5 どの部分にアプローチするか検討する。



### <システム思考で問題の全体像を考えてみましょう！>



物事の全体像を把握する。そうすれば、気づかなかったつながりが見えてきます。